

北鹿の学び舎から

2023

おかげさまで **30** 周年

卒業生からのメッセージ～30周年に寄せて～ ① 秋田職能短大

創立30周年に寄せて

めでたく創立30周年を迎えられ、衷心よりお祝い申し上げます。これもひとえに創立

当初より献身的に教育に情熱を燃やし、学生の指導に当たってこられた教職員をはじめとする関係各位の努力の賜物であると深く敬意を表します。

本校へは1期生として入学し、当時は何もかも新しいことで、進みながら作り上げていく段階でした。教職員の

方々のご指導とご理解、学生、地域のご協力を得て、学生自治会を立ち上げ、1年目から学園祭や球技大会などのイベントを企画、実行するこ

とに関わられたことは自身にとって良い経験をさせていただいたと振り返っております。現在に至るまで学生を迎えられ、送り出していることと併せて、これらの活動が歴史を重ねて継続されていることに大変嬉しく感じております。

開校以来の卒業生は50代に差し掛かろうかという世代を筆頭に、各世代層で様々な分野、方面で幅広く社会を支える活躍をされていることと思

われます。昨今は良くも悪くも大変革の渦の真只中にあります。膨大な情報が瞬時に飛び交い、社会、経済、文化はいとも簡単にボーダーを超え

る時代となりました。数ある技術の中でも、とりわけネットワーク技術とAI技術の進化は著しく、目まぐるしいスピードでダイナミックに変化

し、多様化、複雑化が進んでおります。私自身は本校のコンセプトであるものづくりに携わって

これまで過ごしてまいりましたが、ものづくりの現場でも

例外なくこの渦中にあることを実感しております。そこで必要となってくるのが、高く尊い目標を自ら掲げ、成し遂げようとする克己心と変わりゆく環境や状況を素早く捉えてこれら変化に追従しながら新しい時代に順応する柔軟な発想かと思えます。

このような時代を切り拓く力ともものづくりに関わる実践技術を本校で学び、実社会において大きな力を発揮できるならばそれは素晴らしいことだと思えますし、自身もそのような人材が輝ける場を提供できるよう努めてまいりたいと思えます。

最後に、本校が今後益々隆盛なる前途を開拓し、大館から世界に羽ばたく人材、地域に貢献できるエンジニア、次世代のリーダーとなるべき技術者が育ちゆく場であり続けることを心から祈念しております。

秋木製鋼株式会社 代表取締役社長

高崎 融 さん

生産技術科 (平成6年度卒業)

